

# KOFU

江府町議会  
Youtubeは  
こちらから



## 議会だより

リニューアル号

### 目次

令和8年度 施政方針	2 ページ
各課の当初予算案	4 ページ
請願・陳情	11ページ
一般質問	13 ページ
全員協議会	17 ページ
臨時会	18 ページ
お知らせ	19ページ
私のひとこと 編集後記	20ページ

vol.213

2026.05

3月議会から見える  
10年後の暮らし

※今号ではAIを一部使用して編集をしました

# 町を衰退させないための 子育て・福祉・医療・



## 二地域居住とブランディング 事業の推進

### 持続可能な成長への投資

#### 特産品ブランディング（サーモン養殖）

本町の冷涼な水資源という地域資産を最大限に活用し、「ご当地サーモン」の養殖とブランド化を推進します。これは単なる一次産業の振興ではなく、加工・流通を含めた6次産業化を成し遂げることで、若年層の雇用を創出し、地域経済の自律的な循環を確立します。

#### 二地域居住の促進（農業×関係人口×デジタル）

都市部の人材に対し、農業を通じて本町と深く関わる「関係人口」の創出に注力します。これは定住を急かすのではなく、本町のファンを増やすことで「交流」と「人流」を呼び込む戦略です。

#### 情報通信基盤の更新

デジタル社会の生命線である情報通信基盤の設備更新を計画的に進めます。安定した通信環境の整備は、行政サービスの利便性向上（DX）のみならず、テレワーク環境の構築による移住・起業を促進するための不可欠な「投資費用」です。

#### グローバル人材育成（台湾研修・海外派遣）

中高生を台湾へ派遣し、国際的視野と郷土愛を併せ持つリーダーを育成します。台湾側も日本の関係人口施策に強い関心を寄せており、この研修は単なる見学ではなく、地域課題を世界的な視座で捉え直す「双方向の学び」となります。10年後の町を支えるのは、こうしたグローバルな感性を持った人材という「無形の資産」に他なりません。

# 財政状況の可視化・直面する現実

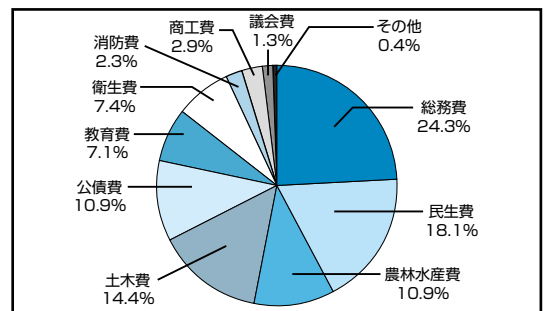
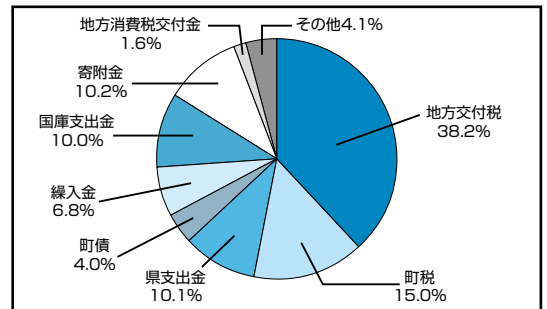
地方債（借金）残高 令和7年度末見込  
 普通会計：約40.43億円  
 全会計合計：約65.65億円  
 新庁舎建設等の大型事業に伴う借入であり、今後元金返済が本格化する。  
 住民一人あたりの負担180.5万円は、県内平均（98.6万円）を大幅に上回っています。

基金（貯金）残高 令和7年度末見込：12.93億円  
 前年度から2億5,300万円減少。このペースでは数年内に底をつく。  
 実質公債費比率 直近15.9%（3カ年平均16.0%）  
 起債許可団体となる「18%ライン」が目前に迫る猶予のない状況。

令和8年度予算においても、収支不足を補填するために約1億8,800万円を財政調整基金から繰り入れています。これは一般会計予算総額49.2億円の約4%を「貯金の取り崩し」で賄っています。この構造的な赤字体質から脱却しなければ近い将来、災害対応や必要な投資さえ不可能な財政状況となります。

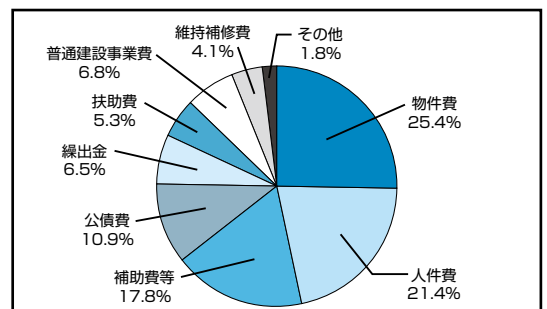
## 対策は 持続可能な運営への転換

- 行政運営の効率化とデジタル化の加速：限られた人的資源でサービスを維持するため、徹底したDXを推進します。
- 「ネイチャーポジティブ」による価値転換：守るべき自然を単なる保護対象から、経済価値を生む「稼ぐインフラ」へと転換します。自然を回復させながら経済成長を図る新たなビジネスモデルを構築し、持続可能な発展を目指します。
- 広域連携の深化：一自治体の限界を認め、日野郡全体での医療・介護の適正なあり方（日野病院の負担金問題等）について、誠実かつ果敢な協議を進めます。



## そして 令和8年度 予算規模総括

- 現在、策定を進めている「10年後の未来ビジョン」は、単なる行政の計画ではなく、度重なる「対話の会」を通じて住民の皆様の意志を吸い上げたものです。



3 総務課（財政）

## 令和8年度当初予算の全体像

令和8年度当初予算案は、総額49億2,000万円となりました。これは前年度比で3.9%2億円の減少となっています。この予算減は、決して町の衰退によるものではありません。前年度まで進めてきた「消防署の造成」や「コミュニティパークの用地造成」といった大型プロジェクトが一区切りついたことによる計画的な変動です。



3 総務課

## 住民に近い行政とPR戦略



出かける役場（3年目）：対話から実行へ。アンケート結果に基づいた集落支援へとシフトします。PRビジョン推進（空き家再生）：「掃除、建具、カーテンなどの工夫」による低コストな宿泊施設化の手法を学び、空き家問題の解決に繋がります。ふるさと納税の見通し寄付金見込みは5億円（前年度比1億円減）。これは国による「ポイント付与の禁止」という制度変更の影響等を考慮した堅実な見積もりです。

3 住民生活課

## 福祉・健康・買い物支援の充実

高齢者補聴器購入費助成：難聴が認知症のリスクを高めるという知見に基づき、上限3万円の助成を行います。本年度は5名分の予算を確保します。アルツハイマー病治療薬助成：極めて高額な新薬による治療を支えるため、県と連携し1件分(上限40万円)の予算を計上します。米子市との広域連携により買い物支援(巡回販売)の充実、障害のある方の地域活動支援センターなどへの負担金と「日中の居場所」を確保します。



3 教育課

## 保育の質の向上と環境整備



次世代を育てる環境づくりでは、子どもの感性を育むソフト面と、安全を守るハード面の両立に注力します。「遊びきる」保育と外部講師の招聘：保育園では、奈良市の勝山結夢（かつやま ゆむ）氏を招聘。子どもが主体的に「遊びきる」ことや、園児の目線に立って「自尊心を保つ」保育環境の整備を進めています。移転を控えた現在の園舎の安全・安心のための修繕は一切妥協せず継続します。

各課の  
当初予算案

それぞれの場所  
で創る未来

今月号では、各部署の今後の取り組みとその予算審議の様子を報告いたします。



各部署が積極的にプロジェクトを進め、多くの成果を上げていくことがわかります。これからも部署を超えた協力を通じて、役場全体も成長していくでしょう。

産業建設課、農業委員会

### 農業・商工業の活性化と安全対策

特産品ブランディング(サーモン養殖) 平山式の水槽6基を増設。展示会への出展により、都市部への販路開拓とブランド価値向上を狙います。

有害鳥獣駆除(クマ対策) 緊急時対応(緊急銃猟制度)のための防護備品を新規購入。

※1 錯誤捕獲時は原則放獣しますが、民家近くでの捕獲や重複個体については、県と連携し殺処分も含めた厳格な運用を検討します。

堆肥センターの運営 雑草の種子を死滅させ高品質な堆肥を作るため、「65度以上の温度を3日間維持する」管理を徹底します。



出納室、議会 (監査含む)



### 公金の適切な管理とコストの精査、開かれた議会への挑戦と効率化

出納室の審議では、公金を安全・確実に管理するための運用コストについて、厳しいチェックを行いました。指定金融機関への手数料、収納・支払経費、データ伝送経費。議会は「開かれた議会」への課題と役割分担： 広報紙やホームページに加え、YouTubeの活用による透明性の向上が急務となっています。

財産区

### 地域の「目に見えない土台」として

- 江尾財産区：現状維持と適正な管理 共有地・森林の適正な現状維持
- 神奈川財産区：資産運用と事務手数料の仕組み 土地・立木資産の資産運用と補償事務
- 米沢財産区：地域活性化と土地活用



まとめ



### 私たちの暮らしはどう変わる？ 予算特別委員会ハイライト

令和8年度の町の予算案を審議する「予算特別委員会」が開催されました。町民の皆様の生活に直結する施策や、新しい町の試みが数多く議論されています。委員会での主要な質疑と予算のポイントを分かりやすく整理しました。

※1 錯誤捕獲(目的外の動物が罠にかかること)

# 予算特別委員会 (一般会計) Q&A

## 空き家

Q:空き家除去補助、空き家改修や空き家家財処分の補助それぞれの補助率はいくらか。



予算委員

A:空き家除去補助は、3項目あり補助率は、特定空き家5分の4、老朽空き家4分の1、空き家の被害防止2分の1、空き家の改修2分の1、家財処分は上限40万円の10分の10の補助率です。



担当者

## 出かける役場

Q:一集落でのアンケートではなく全集落でアンケートを行い、出た意見を全町に反映していくのが、出かける役場の役割ではないか。



予算委員



担当者

A:全集落でアンケートを行い集落ごとの意見を全集落対象に展開していきます。

## ビジョン

Q:「まちのビジョン」を完成させるにあたって専門家(コーディネーター)の意見を聞くとある、空き家事業に関してはこうふのたよりも仕事を担っている。空き家の調査、利活用については町が一括されたほうが良いように思う。コーディネーターの方との連絡調整は上手くいっているか。



予算委員



担当者

A:コーディネーターの方々は、不動産の資格をお持ちで、仕事内容のすみ分けは出来ると思います。いろいろな話についてはこれから連携して進めていくよう話をしています。

## 俣野ふれあい学舎

Q:一昨年、俣野ふれあい学舎についてクラウドファンディングで募集後、何もアクションが起きてないが、いつ頃どういうふうな過程でするのか決まっているのか。



予算委員

A:2024年末から2025年初頭にかけて2,800万円の寄付をいただき要望などをまとめる中、新たな要望や物価上昇による建築単価の上昇などがあり、改めて再構築してから整備しているところです。



担当者

## マイクロバス

Q:バス使用については、福祉事業全般に関係があることで、今の制度は、非常に使いにくく活動の障害になっている。町内のどの団体でも使えるように、マイクロバスの所有を含めて総合的に考えて、新しい制度を作ることは出来ないか。



予算委員

## 保育園

Q:保育園で現在問題となっている裏山、駐車場、職員駐車場の対応はどのようにしているのか。



予算委員

A:いろいろ工夫をしてやっている。安全面で問題があるところは直していきます。



担当者



担当者

A:しっかり問題意識持ちたいと思います。切実な意見と理解しましたので、放置しないでしっかりと意見をくみ取って判断していただけるように管理者に促します。

## 農業公社

Q: 農業公社の地域おこし協力隊のミッション変更で人が少なくなるが、その後の募集状況は、どうなっているのか。



予算委員



担当者

A: 2名の募集をしているが申し込みがない状況です。繁忙期には、変更された方に手伝ってもらいます。

## 通学支援

Q: 通学支援に係るドライバーの安定した人員確保が課題となっているが、今後どのような動きで展開していくのか。



予算委員



担当者

A: シルバー人材センターに委託してドライバーの確保をするようにしています。

## 鳥獣対策

Q: 豚熱でイノシシの捕獲数が少なくなったとの情報があるが、どのような状況なのか。



予算委員



担当者

A: イノシシは少なくなったが、シカが多くなっている。イノシシが400頭から70頭に減少、シカは140頭取れている。日南町より多いです。

## ふるさと教育

Q: 3町連携によるふるさと教育は、日野町中心に行われているように思われる。日野、日南、江府町の考え方の違いがあると思うが、江府町は江府町なりのふるさと教育をしっかりとしていけないか、現状に満足しているのか。



予算委員



担当者

A: 3町として進んでいく方向性の中で、3町それぞれのベクトルを持って進めています。

## 直播

Q: 乾田直播の現在の状況と、今後の展開は。



予算委員



担当者

A: 直播は、試験的に行っている。宮市法人は、ドローンによるバラマキを検討、大河原地区でもバラマキの試験をしています。今後増えていきます。

## 農業公社

Q: 農業公社の理事会で3畝以下の農地は、作業受託しないことに決まったが、耕作放棄地になりうる田んぼを耕作しないということは、江府町農業全般に係わってくると思われる。農業公社の話はあるが、農業委員会、産業建設課、農業公社でしっかり協議、議論、指導を行っていかないと今後の江府町の農地の守り方が変わってくるのではないか。



予算委員

## 梨の栽培

Q: 宮市の梨の栽培は、いつ頃収穫になるのか。



予算委員



担当者

A: 収穫はR9年から始まります。



担当者

A: すべてを農業公社、行政でカバーするのは難しいので、集落で農業、農地の現状を点検してそれに基づいて自分たちで何ができるのか、出来ない部分を農業公社、行政に助けてもらうなど、集落、地域で検討していただきたいです。

 総務課

## 索道事業特別会計

現在は休止中のスキー場について、戦略的な「維持」の方針が示されました。「休止」と「廃止」の選択：施設を完全に撤去（廃止）する場合、莫大な費用が必要になります。そのため、将来的な再開の可能性を残しつつ、専門職員による通電と点検を継続する「休止」の状態を保っています。


 住民生活課

## 医療・介護・住まいの予算

- ① 移住促進住宅特別会計：移住者が住み続けられる環境を維持するための予算です。
- ② 国民健康保険特別会計：令和11年度をめどに県内全域で税率が統一される動きがあり、町は県統一を見据えた税率の見直しを行っています。予算増額の背景は、診療報酬の改定に加え、新設された「子ども・子育て支援金制度」への対応に伴うシステム改修が必要となったため、前年比で約1,450万円の増額となっています。医療DXの推進は、町立診療所において、待ち時間の短縮やスタッフの負担軽減を図るため、専門コンサルタントを導入します。これはIT技術で医療サービスを改善する医療DXの一環です。また、設置後20年が経過した歯科棟の空調設備修繕（176万円）も実施されます。
- ③ 介護老人保健施設特別会計：介護老人保健施設あやめの維持管理は、指定管理による運営ですが、※1 資本的支出は町が負担します。今年度は導入から20年が経過したガス給湯器の更新（121万円）を予定しています。介護給付の推移は、元気な高齢者の増加により、給付費は減少傾向にあります。現在は次期（第10期）計画の策定準備を進めています。


 産業建設課

## インフラ基盤と地域産業の支援

簡易水道の広域連携は、経費削減と効率化のため、米子市水道局等と公営企業会計システムを統合します。将来的な広域連携に向けた重要な一歩となります。深山口地区では、俣野地区第二共同施設への接続を行います。下水道のストックマネジメントは、下水道施設を長く安全に使い続けるために※2ストックマネジメント計画を更新します。この計画策定は、※3国庫補助金を受けるための必須条件となっており、町の財政負担を軽減するために重要です。



- ※1 資本的支出（建物や設備など資産としての価値を維持・向上させるための大規模な支出）
- ※2 スtockマネジメント計画（インフラの健康診断と計画的な修繕を行うための長期計画）
- ※3 国庫補助金（国の支援金）

町民の皆様のご生活に直結する施策や、新しい町の試みを数多く議論しています。委員会での主要な質疑と予算のポイントを分かりやすく整理してお伝えします。

# 予算特別委員会 (特別会計等) Q&A

## 簡易水道

Q:一般会計からの資本的収入100,047,000円は帳簿上の数字か。



予算委員

## 佐川団地

Q:佐川第2団地の共益費はどうなっていますか。



予算委員



担当者

A:企業債、他会計負担金、工事負担金、出資金の合計額です。



担当者

A:家賃に含まれています。

## 漏水調査

Q:道路の陥没が発生しないよう道路の安全を確保してほしい、そのための漏水調査は計画されているか。



予算委員



担当者

A:今年度は江尾地区の漏水調査を計画しています。

## 国民健康 保険税率

Q:保険税率の県統一について令和7年度から10年度にかけて段階的に合わせていく計画とのことだが、町民への影響はあるか。



予算委員



担当者

A:令和11年が県内保険税率統一目標年度、江府町は税率が高い、令和11年に向けて目標にあわせていきます。

## 国保(施設勘定)

Q:令和8年度基金残高は25,790,000円、現状の基金額は143,709,093円となっているが、この差額はなぜ生じているのか。



予算委員



担当者

A:算定の時期が異なっているため、補正前や繰入金確定前による時期のズレ差異が生じています。3月12日時点の基金総額は143,709,093円です。



江府町の医療を支える江府町総合健康福祉センター



## 一般会計予算特別委員会による各課への提言

—— 一般会計予算特別委員会／委員長 芦立喜男

### 【総務・住民生活：暮らしを支える仕組みづくり】

江尾駅周辺活性化(まちの本屋プロジェクト): 図書館や飲食機能が一体となった「全国的にも類を見ない」新たな交流拠点を創出する事業です。町民の意見を丁寧に反映し真に利用しやすい施設となるよう検討すること。

奥大山スキー場の活用: 営業休止が続く中、多くの来場者が訪れる「奥大山自然塾」などの活動と合わせ、解体したレストハウス跡地の活用や、老朽化したエバーランド奥大山の維持管理を検討すること。

買い物福祉・地域支援: 高齢者世帯に不可欠な移動販売等の支援(安否確認含む)を継続するとともに、物価高騰に苦しむ集落団体のため、地域活性化支援事業の申請簡素化や補助額増を検討すること。

### 【教育・防災・産業：次世代への投資と安全の確保】

防災情報センターの改修: 同施設は年間でのべ1,095回利用され、8,584人も町の民が活用しています。建設から20年以上が経過し老朽化が顕著なため、利用に支障が出ないように早急な設備改修が提言されました。

教育環境の充実: 海外派遣事業の人数制限(現在8名)を撤廃し、希望する全ての生徒が体験できる体制を検討すること。また、民俗資料館のトイレ整備(現在は仮設)を計画し利便性を高めること。

農業・環境対策: 従来のイノシシ用防護柵では飛び越えてしまうシカの被害が増加しているためシカ専用の防護柵設置を検討すること。また、農業委員と行政が一体となって集落を巡回し、耕作放棄地の解消に努めること。

## 特別会計等予算特別委員会による各課への提言

—— 特別会計等予算特別委員会／委員長 森田哲也



### 医療・介護の充実

令和11年度の国保税率県内統一に向けた準備を適切に進めること。また、健康診断の受診率を向上させて病気の早期発見を図り、将来的な医療費を抑制すること。高齢者の自立を支えるため、※1フレイルの予防推進を強く求める。

### 施設・設備の有効活用

移住促進住宅の適切な維持管理を行うとともに、スキー場休止中においても、リフト等の設備を自然体験事業などで活用する方策を推進すること。

### インフラ管理と会計健全化

水道事業では、徹底した漏水調査により無駄な水を減らし、経営の健全化を図ること。下水道事業では、管路の老朽化によって雨水などが入り込む「不明水」が課題です。この不明水が増えると、処理にかかる無駄なコストが増大するため、計画的な点検と修繕によって処理コストを抑制し、道路陥没などの事故防止に努めること。

※1 フレイル (加齢による心身の衰え)

## 請願 陳情

町議会の委員会（教育民生常任委員会、総務経済常任委員会）では、住民から提出された「請願」や「陳情」が詳細に審議されています。請願には紹介議員が必要であり、陳情はそれ以外の要望という違いはありますが、いずれも町民の切実な願いを直接町政に届ける重要な民主主義の仕組みです。

### 政府に所得補償(直接支払い)制度の実現を求める請願書 (審査の結果：不採択)

- 農業の危機的状況：県内でこの10年間に農家が50%減少した事実や、物価高騰による生産コストの上昇、耕作放棄地の拡大といった深刻な現状が共有されました。
- 不採択の理由（公平性の担保）：川端委員は、趣旨には理解を示しつつも「文面から具体的な成果や効果を読み取れず、不透明な制度設計のまま採択することは、町民への公平公正を欠く」と厳しく指摘しました。単なる理念への賛同ではなく、文書としての完成度や説明責任を重視した結果の不採択です。



紹介者 前川議員

### 衆議院議員の定数削減に反対する陳情 (審査の結果：継続審査)

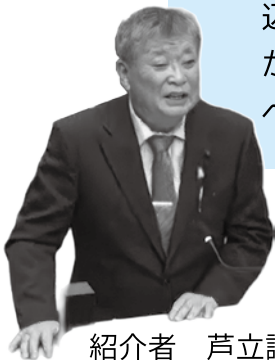
「一票の格差」と「地方の声の反映」という難題に対し、あえて結論を急がない判断がなされました。

- 継続審査の意義：本件は直ちに採否を決めず、次期以降も審議を続ける「継続審査」となりました。これは単なる先送りではなく、民主主義の根幹に関わる問題として「慎重な議論の担保」を目的とした判断です。
- 慎重議論の背景：議員定数の削減は行政監視機能の低下を招く懸念がある一方、選挙制度自体の時代に合わせた改正も必要です。人口減少が進む本町のような地域において、多様な意見をどう国政に届けるべきか、多角的な視点での検討が不可欠とされました。

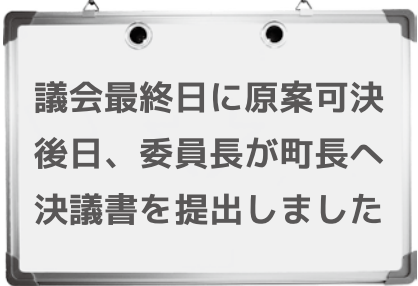
## フリースクール等への通学助成制度の創設を求める請願書 (審査の結果：採択)

不登校児童の学びの場を確保するための経済的支援を求める本請願は委員全員一致で採択されました。

- 教育の多様性と機会均等: 町内にも2桁に近い不登校児童がいる現状を受け、前川委員からは「義務教育の趣旨に照らし、子どもたちに教育を受けさせる責務がある」との意見が出されました。フリースクールを「教育の多様な受け皿」と捉える大きな転換点となりました。
- 近隣自治体の先行事例: 大山町、南部町、米子市、境港市といった周辺自治体では既に費用補助が導入されています。経済的・時間的負担が通学の壁となっている現状を重視し、本町でも同様の支援を確立すべきとの判断に至りました。



紹介者 芦立議員



議会最終日に原案可決  
後日、委員長が町長へ  
決議書を提出しました

## 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、 国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を 求める意見書提出の陳情（審査の結果：不採択）

移植医療の透明性を求める視点からの要望でしたが、町村議会の範疇を越えるとして不採択となりました。

- 権限と実効性の限界: 本件は「イスタンブール宣言」等の国際的な倫理規定や外交問題に関わるものであり、阿部委員は「国際的な問題であり、町村議会が採択の判断をするのは困難」と指摘しました。
- 国内制度の未整備: 国内における「登録制度の未整備」など、国レベルでの法整備が先決であるという背景もあり、地方議会としての判断は、慎重であるべきとの結論に達しました。

# 明るく楽しい町づくりのために



人権学習を深め一歩先ゆく明るく楽しい町づくりのためになすべきことを問う。

**質問** 近年人権に係る研修や行事、小地域懇談会などの参加人員が減少している、人権意識低下の兆しではないか、町長の所見を伺う。

**町長答弁** 副町長時代から比べると少なくとも増えてきた実感がある。

**質問** 「江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」第1条の目的に鑑み何らかの行動を起こすべき時とと思うが町長の所見を伺う。

**町長答弁** 研修に出てこられなかった人たちに参加していただけるように研修内容を考えていく必要がある。

**質問** 町民及び職員の研修や講習を含む人権の学習機会は十分と考えているか。

**町長答弁** 研修の呼びかけはしているが、この質問をきっかけにして年に一度は必ず研修を受けるように徹底する。

**質問** 「江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」第2条、町の責務を果たしているか。

**町長答弁** 具体的な事例を聞き改めて十分ではなかったと反省している。

**質問** 同推協・町・教育委員会発行の「あかるいこころ」に掲載の「人権・同和問題啓発標語」をはじめ、その他の内容は学園の人権教育に活用されているか。

**教育長答弁** 毎年の冊子を活用している状況ではないが、実態に合った資料については活用し人権教育の充実に努めたい。また、人権教育の本質は完成された作品を鑑賞することにあるのではなく、自らの言葉で表現していく過程にあるものと考えます。全作品を人権文化センターに掲示して友達の作品を鑑賞する機会を設けています。

**質問** 同冊子の町民に対するの活用状況は如何様であるのか町長の認識を問う。

**町長答弁** 全戸配布や小地域懇談会に於いて冊子の内容を基に意見交換をしています。「あかるいこころ」については早い時期に作成し、小地域懇談会や各団体の研修、学習活動に活用しやすい形にしていくことが大切と考えます。

**質問** より明るく爽やかな町を目指し、相乗効果として移住定住者や関係人口を増やすために今後も以上に「人が人を呼ぶ人権研修」や教育の時間を増やす考えはないか。

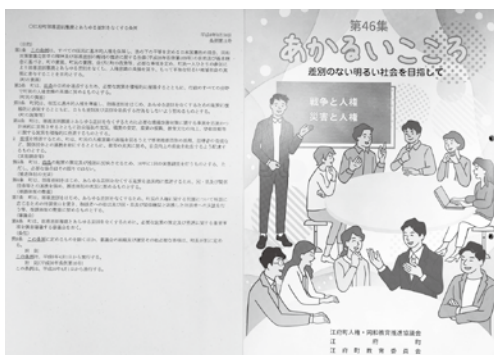
**町長答弁** 町が人口減少の中、必要な取り組みは是非実行したい。

**質問** 鳥取県西部地区同和対策協議会の会長として、また、町長として令和8年2月3日に受講した研修会の感想で「差別を許さない」生き方を！がしっかりと胸に響いたとしている、その想いは町民と共有すべきと考え、何時いかなる方法で町民に伝えるのか。

**町長答弁** 自分の心の中にそう想っていればいいのではないかと思えます。

**質問** 同和問題がすべての人権問題の根底と位置付けて、研修や講習を実施することを提言する、このことについて町長の所見を求めらる。

**町長答弁** 町は県よりも2年早く条例を制定しています。とても誇りにすべきこととあります。この精神を大切にして取り組んでまいります。



「江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」

# 暗渠排水の敷設による乾田化に 補助金増額を！

**質問** 水田に暗渠排水を設置すると、上限200万円4、5反分の施工可能で県が40%、町が40%の補助金となっており、残りの20%が受益者負担となっています。80%の補助金は、ありがたいうことです。受益者負担の20%は、農家にとって200万円、40万円は、負担が大きいと考えます。そこで、町の補助金を10%多く出していただきたい。

**町長答弁** 現在の制度を継続して運用する考えです。受益者負担の原則というのがあり

水田の暗渠排水を設置するための補助金増額について



4番議員

芦立喜男

**町長答弁** 私はいいことだなと思っております。特に体にも環境にもいい。今、プラネタリーヘルスでやっていることと、同じようなことをやっていると思っております。江府町の特徴をよく表したお米が世の中に出回るとは、しかも高い評価を得るということは、それはお米が売れるだけ

**質問** 令和8年度見込み、奥大山プレミアム特別栽培米は800アール以上生産計画があります。価格は30kg当たり18800円と通常の米より3300円高くJAが引き取ります。小売価格は東京大阪のデパートで1kg当たり2100円と高額です。これを増産するためにPRしてはどうか。

奥大山プレミアム特別栽培米の増産について

まして、残りの20%に関して地元負担ということですが、ただ、20%部分に中山間地域の直接支払い交付金の活用も可能であります。



暗渠排水をしていけば・・・

でなくて、江府町のことを広く全国に知っていただくという意味でも大きな意味があると思えます。

**産業建設課長答弁** 生産者自ら、やってみただけ良かった、作れんことはなかった、結構大変だと言われたけど大丈夫だったと言っていた。これによって仲間を徐々に増やすことも可能かなと思います。

**質問** 令和元年6月19日に第1回江府町公共施設あり方委員会が開催され、11月20日まで6回行われています。町の方針として令和3年以降、日輪閣、特産品研究所加工所、旧明倫小学校の校舎の解体となっており、さらに山村開発センターはどうするのか。

**町長答弁** 山村開発センター以外は解体する方向で、進めたい。ただし、解体時期については慎重に検討をさせていただきたい。

江府町の公共施設は解体するのか



解体される日輪閣等

# 1月6日 地震の教訓と 森林整備の推進 について



## 地震対応について



**質問** 今回の地震対応を通じて得られた課題や改善点を整理し、計画へ反映させていく「検証と見直し」の積み重ねが、今後のよりの確な対応につながるものと考えている。

**町長答弁** 今回の地震に限らず、近年の災害は規模、形態が従来の予測をはるかに超えていることが多いと思う。マニュアルを基本とするが、現場の状況、災害の程度によって適切な判断を下せるように職員を育成していくことが必要である。

**質問** 今回の1月6日の地震における当日の対応について初動体制や情報収集・伝達、

職員配置などの点において、どのような検証が行われているか。

**総務課長答弁** 地震発生時に初動が速やかにできた。検証は災害対策本部の内容を共有し全体に総括を行っている。

**質問** その検証結果を踏まえ、地域防災計画や関係マニュアルについて、より実践的で行動に結びつくシナリオとなるよう修正・改善を行っていく考えがあるか。

**総務課長答弁** 職員初動マニュアルの見直しを時代に合わせに行っている。地域防災計画は修正が必要な事案が発生した場合は随時行っている。

**質問** 併せて、今後の災害対応に向け、経験の蓄積や職員間での共有をどのように図っていくのか。

**総務課長答弁** マニュアルは簡潔にし、それを基に置かれた状況に応じて最適な判断を下せる職員を育成していく。

## 森林整備の推進について

**質問** 江府町内の人工林の多くが、手入れされていない状

況で、災害リスクの増大、獣害の深刻化、水環境の悪化など、町民の生活に直結する問題となっており森林をどう守るかが、今後のまちづくりの大きな鍵、課題になる。

**質問** 町内の人工林について間伐を軸とした森林整備を進めていく考えがあるか。

**町長答弁** 町、森林組合、森林所有者が一体となって江府町森林整備計画を基に間伐を中心とした整備を計画的に推進する。

**質問** 江府町特定居住計画に示された奥大山農林業センター創設の進捗状況及び今後の展望について

**町長答弁** 現時点では奥大山農業公社の強化、その後林業センターを検討課題とする。

**質問** 江府町森林整備計画を実行する上での奥大山農林業センターの役割及び関与の在り方について

**町長答弁** 林業センターの具体的な役割や関与についてはまだ想定していない。

**質問** 行財政方針「観光から環境へ」と林業施策との整合性について

**町長答弁** 林業との整合性はなく、特に水を守るという意味で環境は大変、整合性を考えたものではないが親和性はあると思う。

**質問** 今後の林業施策推進体制及び中期的な計画について

**町長答弁** 近隣の町村や関係機関と広域的な連携体制を作り、中・長期的な整備を模索中。



江府町内の人工林 杉

# 佐川のコミュニティパークと 江尾のまちの本屋



1番議員

前川文洋

コミュニティパークについて

計画の見直しを求め質問する  
1. 施政方針と関連して、質問当  
事業は施政方針の重点プロジ  
エクトに含まれないが進める  
のか。

**町長答弁** 財源は地方創生交  
付金だが、今はまだ来年度予  
算が確定していないこと、ま  
た造成工事が少し遅れている  
ため、当初予算には上げてい  
ない。住民に使ってもらえる  
よう気運を高めていく。  
2. 安全／質問 安全は十分検討  
されているか。万が一の事故の  
責任は。  
**総務課長答弁** 交通事故につ  
いて、設置者や管理者に責任  
は無いと認識。

**町長答弁** 右折レーンの設置  
可否などは改めて協議する。

3. 理念／質問 このパークの何  
が児童の健全な心身の発達に  
つながるか。  
**総務課長答弁** 必要な保育機  
能は担保している。現状も保  
育士との意見交換をしており  
新たな会議体の設置予定はな  
い。

4. アクセス／質問 町内に住む  
高齢者・休日の子どもたち・  
放課後の生徒はどのような手  
段で来るか。  
**総務課長答弁** 駅・役場・防  
災センター・日野川校舎・ブ  
ナの森校舎を結ぶループバス  
を想定。

5. 事業費／質問 概算14.5  
億円に含まれない費用は。将  
来的な用途変更の制限は。  
**総務課長答弁** 執行済みが2  
億1227万円、建設関係工  
事の見込額が14.5億円、  
これに備品購入費等で約2億  
4950万円。交付金採択額  
は計画で19億2792万  
円。用途変更や財産処分の制  
限はある。

6. 合意形成／質問 これまでに  
ない予算規模だが、町民の賛  
同は得られているか。新庁舎

建設時のように丁寧に出来な  
いのか。  
**総務課長答弁** 機会は再三設  
けてきた。なにより議会での  
予算・事業の審議・承認が最  
大の住民合意形成。

**町長答弁** 金額は確かに大き  
いが財源が要。自主財源だけ  
をみると低い。その地方創生  
予算枠だが、知事からは一応  
保持されたと聞いている。場  
所の選択肢があった庁舎と異  
なり今回は先に場所が決まっ  
ていた。

まちの本屋に  
ついて問う



1. 事業内容／質問 現時点で本  
の販売・飲食の提供・交流の  
促進、これらの優先順位は。  
町長答弁優先順位は無いが、  
「本」を軸にするコンセプ  
トは守ってほしい。

2. 業態の自由度／質問 当事業  
は交付金等を受けるか。運営  
受託者は業態・間取りの変更  
は可能か。  
**総務課長答弁** 地域未来交付  
金の認可をうけている。本棚  
や机、平台は若干動かせる  
が、業態・間取りの変更は原

則出来ない。  
3. 合意形成／質問 事業  
に対してさまざまな意見  
があるが、これをどう反  
映するか。目的は民間ビ  
ジネスか公共サービス  
か。  
**総務課長答弁** ワークシ  
ョップなどをしてきた。  
現状の趣を残しつつ本屋  
やカフェの経営実績のあ  
る設計者の知見を活か  
す。

**町長答弁** これは単なる  
商売では無い。全国で本  
屋が廃れる中、果敢にと  
り組むことによって全国  
からの注目が集まり賑わ  
いが生まれると考えてい  
る。



コミュニティパーク計画地 (5月1日撮影)

# 3月全員協議会

## 日野病院組合 報告

全国的な公立病院の経営難の中、日野病院は、令和8年度も黒字決算を見込んでおります。特筆すべきは「人事交流」による地域医療の維持です。町内で深刻な「保健士」不足が生じる中、病院から町へ専門職を派遣するなど、組織の枠を超えた柔軟な体制整備が進められています。

## サーモン陸上養殖事業の進捗

当事業の進捗報告と質疑応答が行われました。

### ●事業経過

令和6年2月：創業塾において技術提供者との接点を構築 同7月：議員による先行事例の視察を実施 令和7年3月：地方創生交付金事業（50%補助）として採択 同4月～6月：水源確保のための電気探査を実施 同8月～令和8年1月：旧米沢小学校グラウンド内にて井戸掘削を実施し、水質・水量ともに良好と確認 現在：体育館への水槽設置および加工施設の整備が進行中

●運営体制：株式会社奥大山サーモン 町内3名を含む5名の発起人により設立

### ●主な質疑応答

Q1/前川議員：公募を行わずに約2億円の公費を投じることに對する公平性と、利益誘導の懸念を指摘。A1/町長：令和6年の創業塾で広く門戸を開いて周知した際、熱意を持って手を挙げ、平山氏との高度な信頼関係を築き、リスクを取る覚悟を示したのが現在の発起人らである。スタートアップのスピード感を重視した選定の妥当性を主張。A1補足/副町長：指定管理制度ではなく、貸付や現物出資という形式に近い性質であることを示唆し、最も合理的な法的スキームを今後議会に提示し、承認を仰ぐ考えを述べました。

Q2/前川議員：技術者（平山氏）への過度な依存リスクを指摘。A2/町長：ノウハウの吸収に加え、平山氏による製品の引き取り保証も含めた出口戦略を構築しており、将来的な自立は可能であるとの認識を示しました。

## 後期高齢者医療広域連合 報告

令和8年度予算は、約965億円に達します。令和8年2月12日、湯梨浜町役場にて定例会が開催されました。なお、住民から提出されていた「保険料引き下げを求める陳情」は、広域連合議会において不採択となりました。

## 日野町江府町日南町衛生施設組合 報告

国道181号バイパス工事に伴い、し尿処理施設清化園の水源(井戸)が支障物件となるため移転調査が必要です。新たな水源確保に向けた探査業務として、583万円の債務負担行為(令和7年度予算)が設定されました。施設稼働から10年目を迎えるにあたり、精密機能検査や電気設備の修繕を行い、インフラの長寿命化を図ります。

## 中海テレビ放送からの提案

総務課は、中海テレビ放送からの「インターネットを活用したニュース番組などの配信サービス」の提案を報告しました。

●提案：スマートフォンや「IPスティック」を接続したテレビを通じた簡便な視聴、文字放送、過去1週間分のニュース視聴、災害時の緊急生放送対応が可能。

●課題：著作権処理に伴う配信のタイムラグ（翌日配信）、および初期導入費用、維持管理費（公費および個人負担）の発生。

### ●主な質疑応答

Q1/森田議員：中海テレビ経由の情報が役場職員の手を介することによるタイムラグなどを懸念。A1/総務課長：同社の自主取材に基づく配信であり、役場業務を圧迫せず情報の重層化が可能との認識を示しました。





# 令和8年1月臨時会

## 主な事業内容：

- プレミアム商品券発行业務（2,065万6,000円）：物価高騰対策として1万円分の商品券を配布しました。  
販売や精算の実務は、地域の経済団体である江府町商工会へ委託されました。
- 生活困窮者等支援（15万円）：一世帯あたり1.2万円を支給します。今回の補正は、既定予算の不足分を補うためのものです。
- システム改修（81万4,000円）：国の制度改正に伴い、外国人生活保護事務において自治体間の情報連携を円滑に行えるよう、既存データの改修を行います。
- 地震被災者支援（30万円）：令和8年1月6日の島根県東部地震を受け、町独自の条例に基づく「住宅再建支援金」を支給します。町は、県の方針に合わせ、条例の定める自然災害(第4号：地域社会の維持が困難になる恐れがある被害)に指定。1件あたり2万円（15件想定）の支援を決定しました。

## 繰越明許費の承認

年度内に完了することが困難な以下の事業について、予算を翌年度に繰り越す「繰越明許費」が認められました。

- 物価応援商品券発行业務：準備期間の確保および適切な販売時期を設定するため。
- コミュニティパーク造成工事：工事の発注時期が当初の想定より若干後ろ倒しとなったため、工期が年度をまたぐこととなりました。

これは年度末の無理な工事を避け、事業を適切に完了させるための必要な措置です。

## 緊急を要した介護施設の設備更新 (専決処分の承認)

- 対象施設：介護老人保健施設あやめ
- 事由：火災報知設備の機能不全(老朽化により修理不能)。入所者の安全確保のため緊急の更新工事が必要となったもの。
- 補正額：440万円
- 財源：ふるさと応援基金繰入金  
この予算は、一般会計補正予算第8号として計上執行されました。

## 「江府町コミュニティパーク」造成 に向けた工事請負契約の締結

- 契約の目的：江府町コミュニティパーク造成工事
- 契約の方法：指名競争入札
- 契約金額：7,733万円（うち消費税及び地方消費税 703万円）
- 契約の相手方：江府町コミュニティパーク造成工事コーセン・浜本組共同企業体

## 一般会計補正予算第9号の総額と主要事業（議案第3号）

補正予算：一般会計補正予算第9号の総額と主要事業（議案第3号）

物価高騰対策、システム改修、および震災支援を主眼とした一般会計補正予算（第9号）が可決されました。

- 今回の追加額（増額分）：2,192万円  
補正後の予算総額：53億1,990万円

# お知らせ

開催日時 **令和8年6月2日(火) 19時開始**

江府町議会主催

## 住民懇談会

町政に関する情報共有と意見交換の機会として、住民懇談会を開催します

会場：**江府町役場 2階 多目的室**

受付開始 18時30分 から

予約 不要

### 令和8年度 予算がテーマ

皆さまの率直なお声がより良い町政と議会運営につながります

町政に関する率直な疑問やご意見も含め、自由にお話しいただけます

「ご質問など幅広くお伺いします」

後半にフリートークの時間あります

記録のため録音を行います。ご参加やご発言にあたり、お名前は不要です

広報用に開催風景の撮影を行います

ご都合の悪い方は画角に入らないよう配慮します

平素より町政・議会運営にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

江府町議会では、町政に関する情報共有と意見交換の機会として、右記のとおり住民懇談会を開催します。今回は前半に「令和8年度予算」をテーマに取り上げ、後半はフリートークの時間として、町政へのご意見・ご要望、議員へのご質問などを幅広くお伺いします。どうぞお気軽にご参加ください。

## 政治倫理条例関係の報告 (政治倫理条例第5条により報告と掲載)

受付日	令和8年4月30日
企業名	江府町コミュニティパーク造成工事コーセン・浜本組 共同企業体
議員と企業との関係	代表取締役
契約の内容	江府町コミュニティパーク造成工事請負契約
請負の方法	指名競争入札
契約金額	77,330,000円

## 補足説明

こつふ議会だより【212号】

「日野郡町議会議員研修会開催」記事の講師陣の意図について一部誤解を生じる表現がありましたので、補足説明いたします。

広報公聴常任委員会  
委員長 川端登志一

「大規模農業はその生産方法から農地を崩壊させている、そのため農地が廃れてきている」という記載は、日常の加工食品の原料となる小麦などの輸入農産物生産のためのアメリカなどの大規模農地における、灌漑による塩害や水の枯渇等の世界規模の問題について取り上げたものです。そのため地域の米を食べ、農地を守ることが重要であることを、研修ではお伝えしました。

特に、田んぼは、米の生産にとどまらず、水の涵養による防災、水蒸気による気候の緩和、生物多様性、文化の醸成、食料安全保障、健康増進等の多面的な価値があり、これを守って下さっている農家の皆様のご尽力には大変敬意をもっております。

今後とも農家の皆様の一助となるよう邁進して参ります。

ご理解の程宜しく申し上げます。

天籟株式会社 桐村里紗

## 私のひとこと



奥大山江府学園  
校長 谷田孝之

## 子どもたちと描く 「笑顔の虹」



春の訪れとともに、令和八年度がスタートしました。新しい学年への期待に胸をふくらませて登校する子どもたちの姿に、私たち教職員も身の引き締まる思いです。

子どもたちが自分たちで決めた今年度のスローガンは「みんな笑顔、虹をかけよう」です。私はこの言葉がとても気に入っています。「笑顔になる」と大人に言われるのではなく、子どもたちが自ら「みんな

で笑いたい、そのために架け橋になりたい」と願っている。その主体性が何よりも尊いと感じるからです。

子どもたちには、二つのことを伝えました。一つは「自分から」動いてみることに。小さな一歩で構いません。自分で考えて動いた経験は、いつか大きな自信に変わります。もう一つは「出会い直す」ことです。長く一緒にいる仲間でも、新しい学年になった今、改めて相手の「いいところ」を探してほしい。互いを認め合う心の育みが、学校全体の温かな雰囲気をつくり、ひいては「みんな笑顔」の実現につながると信じています。

今年度は、六年生が日野川校舎に仲間入りし、十五名の新一年生を迎えました。全校児童生徒百二十五名、学校には今、新しい風が吹いています。私たち教職員も、子どもたちの成長の瞬間を逃さないよう、情熱を持って向き合っています。

す。しかし、学校は決して校舎の中だけで完結するものではありません。登下校中に声をかけてくださる地域の方々、温かく見守ってくださいさるご家庭、そうした皆様との何気ない繋がりの中にこそ、子どもたちの「安心」と「安全」があります。江府町の空に、子どもたちの笑顔という鮮やかな虹がいくつも架かるよう、今後ともどうぞ温かく見守っていただければ幸いです。



## 編集後記

川端登志一

3月議会が終わりこの便りが、皆様の手元に届くころには桜の花も終わり、田んぼには早苗がキチンと列をなして植えられていることでしょうか。今年は早々に大きな地震が始まり、今もなお地球の向うの出来事が日本列島を揺らしています。しかし、そのような4月には江府学園に15名の1年生が入学されました。先生の名前の読み上げに全員が大きく確かな声で返事をしていました。数年前には全く新しいコンセプトの保育園で育った園児の皆さんも入学されることでしょうか。私たち議会も大きくなっていく子どもたちや町民の皆様にはしっかりと応えられるように「まちづくり」に取り組みたいと思います。また住民懇談会等の機会には積極的に意見の交換をしたいと願っています。併せて、今回から「A」を活用した編集をしています、感想などもぜひ、お聞かせください。

### 広報公聴常任委員会

委員長 川端登志一

副委員長 森田哲也

委員 芹立喜男 川端裕 前川文洋

議会事務局